

“地域の絆”を育む景観まちづくり取り組み試行

宮崎県日南市

- 「回想法」を活用した地域景観資源の再点検
- 景観素材である「飴肥杉」を活用した町並み修景社会実験
- 日南スタイルの景観まちづくりシステム構築のための検討

<p>概要</p>	<p>本市は、城下町飴肥(重伝建地区)、港町油津(国登録有形文化財21件)、日南海岸(国定公園)、坂元棚田(日本の棚田百選)など、歴史文化と地域風土に育まれた日南固有の魅力ある景観が形成されている。この地域個性を活かした景観まちづくりを進めるため、景観条例、景観計画を策定し諸施策を実施しているが、少子高齢化、定住人口減少等により、歴史的建造物の空き家・空き地化など課題が多い。本取り組みでは、その課題に対応するため、“地域の絆”をキーワードに、日南スタイルの景観まちづくりシステム構築へ向けた社会実験等の取り組み試行を実施して検討を行った。</p>
<p>実施内容</p>	<p>◆取組Ⅰ「知」による日南文化等の継承のための取組◆ <u>○「回想法」を活用した市民・大学・専門家の連携による地域景観資源の再点検</u> 城下町飴肥をフィールドに、福祉で用いられる「回想法」を応用し、高齢者・市民団体・学生等の世代間交流を通じて、景観資源の再点検をワークショップ形式で実践した。具体的には、高齢者の回想をもとに、まち歩き、マッピングを行い、景観資源のデータベース化、次ステージの景観まちづくりの担い手育成を図った。</p> <p>①</p> <p>◆取組Ⅰ「知」による日南文化等の継承のための取組◆ <u>○景観ヘリテージ・マネジメントの導入試行</u> 歴史的文化的資産等を景観まちづくりへ活用するため、兵庫県で実施されているヘリテージ・マネージャー制度を参考にして、景観の観点に立った人材育成を試行するとともに、上記ワークショップ成果と併せ、今後の総合的な景観施策への反映方法を検討した。(景観ヘリテージ・マネージャー養成講座:4回開催)</p> <p>②</p> <p>◆取組Ⅱ「連」による協働体制の確立のための取組◆ <u>○パートナーシップによる景観資源利活用へ向けた社会実験</u> 城下町飴肥や港町油津に点在する歴史的建造物の空き家・空き地化の課題に対し、市民と行政の協働体制によって保存・利活用方策(ギャラリー等)を検討するため、飴肥地区の伝統的建造物において利活用実験をモデル実施して、今後の景観資源利活用方法の方向性を検証した。</p> <p>③</p> <p>◆取組Ⅱ「連」による協働体制の確立のための取組◆ <u>○飴肥杉ダラケの景観まちづくり実践へ向けた活動試行</u> 本市の景観まちづくりの基本テーマである「飴肥杉を活かしたまちづくり」を実践するため、商店街をモデルゾーンに設定し、民間・行政・専門家の協働体制によって、市民に身近な商店街を飴肥杉で演出する空間実験を行い、景観形成における飴肥杉の素材活用、需要拡大の方向性を検証した。</p> <p>④</p> <p>◆取組Ⅲ「景」の持続性の確立のための取組◆ <u>○官民空間における景観デザインコントロールのための仕組みづくり</u> 景観行政の現況として、市民等との横断的連携や、景観計画の運用における誘導等の課題があるが、景観まちづくりの推進にあたり、学識者・市民代表・行政により、都市戦略の一環として実践的かつ持続性のある景観施策の在り方や、日南スタイルの運用システムの方向性を明確化するための検討を行った。</p> <p>⑤</p>
<p>取組の成果</p>	<p>本事業における各取り組み内容について、それぞれ有効性が確認されたが、特に「回想法」を活用した地域景観資源の再点検では、まちづくりから遠い存在となっている高齢者に、まちづくりへの参画機会を提供でき、まちづくりに取り組む市民団体でさえ知らない貴重な情報が得られた。また、世代間交流を通じてワークショップを実施することによる歴史文化の継承が行われ、景観まちづくりを契機に、薄れていた地域コミュニティを再生する機運が醸成され、“地域の絆”を育む手法の有効性が確認できたことが大きな成果となった。</p>

今後の課題	本事業における景観施策の取り組みについて有効性が確認されたが、景観まちづくりを推進するにあたっては、景観からの切り口だけではなく、まちづくり総体における景観の位置づけを明確にする必要がある。まちづくりのビジョンを明確化、共有化し、市民にとって、景観形成が重要であることを認識するための施策を推進できるかが課題である。また、景観資源は文化財未満文化財であることが多く、地域住民がこれらの景観資源の価値や存在を知り、積極的に活用する地域固有の景観づくりを、官民協働で推進できる体制・システムの構築が求められている。
今後の展開	まちの風景、生活、作法等は、これまでの歴史を物語っており、人と人との絆によって生み出されたものであると考える。その地域個性を活かすため、本事業で得られた成果を活用し、日南スタイルの景観まちづくりシステムを構築していく。具体的には、世代間交流を通じて、地域住民が景観資源の価値や存在を知る機会を増やし、地域の絆再生を目指して、文化や作法、暮らし方について、市民が提案する体制を構築する。また、行政においては、文化財担当部局、農林担当部局など、横断的連携を図り、地域資源の魅力を高める誘導施策を柔軟に運用していく。
市町村名	宮崎県日南市
部局／担当者名	建設部建設課／主任技師 倉岡宏宜
連絡先	TEL : 0987-31-1168
リンク	



取組①:「回想法」を活用した地域景観資源の再点検ワークショップ状況



取組②: 景観ヘリテージ・マネージャー養成講座状況(景観ヘリテージ・マネジメントの導入試行)



取組③: 景観資源である伝統的建造物の利活用実験状況



取組④: 鉄肥杉ダラケの町並み修景社会実験の様子



取組⑤: 日南スタイル景観まちづくりシステムの検討会状況(景観まちづくり検討会)